

2017. 03. 13

《《2016 年度 : H28 年度活動実績》》

1) 第 1 回研究会を 7 月 16 日(土)に文化学園大学 A181 教室にて開催した。

・見崎大悟(工学院大学工学部機械システム工学科・ヒューマンインターフェース研究室)

「スタンフォード大学におけるデザイン思考と人間中心設計の教育・研究について」

2) 第 2 回研究会を 10 月 22 日(土)秋葉原ダイビル 12 階・秋葉原サテライトキャンパス会議室にて、首都大学東京 serBOTinQ と共催した。

・山下敏男(元首都大学東京教授、元日産デザイナー、INTERROBANG DESIGN 株式会社代表取締役)

「デジタルリードデザインプロセスに関する研究」

・相野谷威雄(ヴィー・ディー・エス株式会社代表取締役、

首都大学東京サービスロボットインキュベーション HUB・Managing Director)

「感性に関わる性能とデザインの関係」

3) 第 25 回システム大会の感性情報処理・官能評価セッション(I)、(II); 平成 29 年 3 月 14 日(火)において、若手研究者による発表講演を組織、支援した。

4) 部会主催の公開講座(講義と実習)を 8 月 3 日(水)、文化服装学院メイキャップ実習室にて開催した。

・梶谷哲也(文化学園大学)

「美人の特徴-人間工学に基づくお化粧法-」

・夏目幸恵(文化服装学院 ヘアメイク・化粧科学研究室)

「モデルを使ったメイクの実演および受講者個別指導」

5) 感性情報処理・官能部会の会員のみを対象にした勉強会を、平成 29 年 2 月 15 日(水)首都大学東京南大沢キャンパス(1号館 109 室)にて開催した。

・市原 茂((株)メディア・アイ感性評価研究所、首都大学東京名誉教授)

「心理学者を対象とした特許に関する解説」

## 《《2015 年度 : H27 年度活動実績》》

1) 第 1 回研究会 (3 タイトル) を 11 月 21 日 (土) に、首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパスにて開催した。

・佐藤 壮平 (首都大学東京大学院 人文科学研究科 心理学分野)

「運動する視対象の印象を 2 次元フーリエ解析で評定する方法について」

・馬場 哲晃 (首都大学東京 システムデザイン研究科 インダストリアルアート学域)

「プロトタイプングによる体験価値創出と、研究、製品デザインへの展開」

・江原 康生 (大阪大学 情報推進本部/サイバーメディアセンター)

「遠隔コミュニケーションにおけるユーザに必要とされる臨場感とは」

2) 第 2 回研究会 (1 タイトル) を 2 月 20 日 (土) に首都大学東京 日野キャンパスにて開催した。

・瀬尾 明彦 (首都大学東京 システムデザイン学部 教授)

「作業姿勢の計測と評価ー産業人間工学の立場からー」

3) 第 24 回システム大会の感性情報処理・官能評価セッション (平成 28 年 3 月 10 日 (木)) において、若手研究者による 7 件の発表講演を組織、支援した。

4) R を用いた統計講習会を 3 月 22 日 (火) に、首都大学東京・南大沢キャンパスにて開催した。

・草野 勉 (神奈川大学人間科学部)

「R を用いた統計処理、多変量解析」

(以上)